

英語科への挑戦状－ほんまにシャドーイングっているんかいな－

中井 傑 宮本 茉奈 和田 翼 中谷 美結

Is shadowing an effective way to enhance our listening ability?

Abstract

We researched whether shadowing improves our listening ability or not. We found that how we do shadowing is important. Just doing shadowing is not enough to improve our listening ability. We might need to know how to do shadowing in an effective way.

私たちは、シャドーイングがリスニング能力を効果的に向上させるかどうかをリサーチした。その結果、高校生の英語学習に示唆を与える結果を得た。

1. 目的

英語学習の方法の一つとして、シャドーイングがよく行われている。本校でも授業内外でシャドーイングを行っているが、シャドーイングが実際にリスニングの向上に効果的な学習方法かどうかを探る。

2. 先行研究

玉井 (2004) の研究によると、短期大学性 93 人に対してシャドーイングを行うグループとリスニングとディクテーションを行うグループに分け、リスニングテストの点数の伸びを図ったところ、グループ A, B とも成績を伸ばし、成績の伸びに優位的な差はなかった。そこで、高校生を被験者にした場合、どのような結果になるかを調べることにした。

2. 方法

本校 1 年生 80 名を 2 つのグループに分け、一つのグループにはリスニングとディクテーションを行ってもらい、もう一つのグループにはシャドーイングの学習を 3 週間行ってもらった。学習の前後にリスニングのテストを行い、点数の変化を比較することで、どちらの学習方法がリスニング力向上に効果的であるかを検証した。研究デザインは以下のとおり。

12 月 22 日 (月)

高津高校 1 年 2 クラスの生徒に実験目的について説明、了解を得たのち、プレテストを行い、それぞれのクラスで学習方法を説明する。

12 月 22 日 (月) ~ 1 月 12 日 (月)

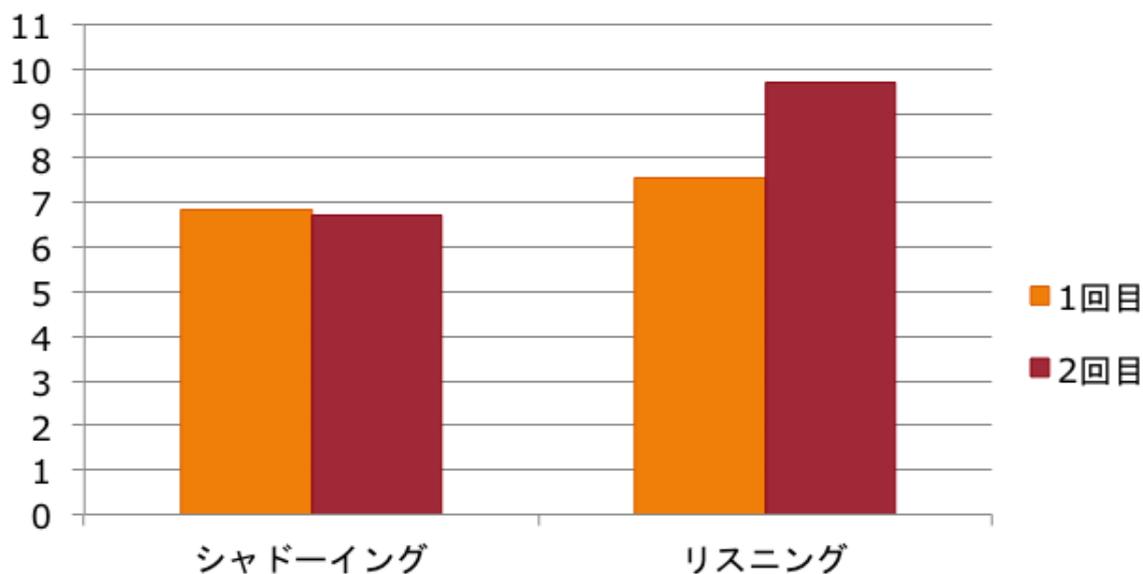
家庭学習期間 (被験者はグループ別に指定された方法で毎日学習を行う。)

1 月 13 日 (火)

ポストテストを行う。

3. 結果

ポストテストの際、アンケートを行い、家庭学習が不十分であったと回答した生徒を省いたのち、それぞれの点数を表にまとめた。プレテスト、ポストテストの平均点の推移は以下のとおり。



生徒各々のプレテストとポストテストの点数の差について、t 検定を行った結果、 $t=2.347832$, $df=10$, $P<0.05$ となり、有意差が認められた。そのため、シャドーインググループよりも、リスニング・ディクテーショングループの方が、リスニング能力が向上したということが言える。なお、今回の実験で、各グループの平均点で t 検定を行った結果、有意差は認められなかったため、シャドーイングの平均が下がる、という結果は一般的には言えない結果であった。

4. 考察

シャドーイングをリスニング能力の向上につなげるためには、英文の内容理解を伴うシャドーイングや、シャドーイングを行った後の振り返りなどを行うことが、不可欠ではないか。

5. 結論

シャドーイングの効果はあるものの、その学習方法によって、効果が変わる。そのため、シャドーイングを行ったからといって、必ずしも効果があるわけではなく、正しい方法で行う必要がある。

6. 参考文献

門田 修平(2007)『シャドーイングと音読の科学』コスモピア株式会社
玉井 健 門田 修平(2004)『決定版 英語シャドーイング』コスモピア株式会社
玉井 健(2005)『リスニング指導法としてのシャドーイングの効果に関する研究』風間書房